

(様式2)

令和7年度神奈川県介護生産性向上推進事業費補助金所要額調査

導入する主たる機器の種類を
選択してください。

・市町村等ほかの補助金を併用する場合のみ、その金額を記入し
てください。
・ない場合は「0（ゼロ）」を記入してください。

補助事業者名： 社会福祉法人 かながわ

(単位：円)

優先順位	補助事業名	区 分	総事業費 A	寄付金その他 の収入額 B	差引額 (A－B) C	対象経費の 支出予定額 D	基準額 E	選定額 F	補助 基本額 G	補助所要額 上限500万円 H	既交付 決定額 I	差引 補助金所要額 (H－I) J	導入台数
1	介護テクノロジー等 の導入支援事業	見守り・コ ミュニケー ション	15,000,000	0	15,000,000	15,000,000	37,500,000	15,000,000	15,000,000	5,000,000	0	5,000,000	100
1	導入支援と一体的に 行う業務改善支援事 業	導入支援と一 体的に行う業 務改善支援事 業	500,000	0	500,000	500,000	600,000	500,000	500,000	400,000	0	400,000	
2	介護テクノロジー等 の導入支援事業	移乗支援（装 着）	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	2,500,000	2,000,000	2,000,000	1,600,000	0	1,600,000	2
2	介護テクノロジー等 の導入支援事業	排泄支援（排 泄予測・検 知）	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	3,750,000	2,000,000	2,000,000	1,600,000	0	1,600,000	10
3	介護テクノロジー等 の導入支援事業	その他	350,000	0	350,000	350,000	2,500,000	350,000	350,000	280,000	0	280,000	2
合計			19,850,000	0	19,850,000	19,850,000	46,850,000	19,850,000	19,850,000	8,880,000	0	8,880,000	

①見守りセンサーを100台導入
→1事業所あたり補助上限額500万円
②導入にあたってコンサルティング会社等から
業務改善を受ける場合
→1事業所あたり補助上限額48万円

合計：補助上限額最大548万円
このケースの場合は、補助額540万円

③移乗支援機器2台と排泄支援機器10台導入
する場合
複数種類のロボットを導入する場合でも、1事
業所あたり補助上限額は500万円

③スライディングボードを2台導入する場合

●優先順位の高い事業所の順番に番号を記入してください。
●1事業所で複数種類のロボットを導入する場合は、「行」を別
にして、番号を同じにしてください。

「I欄」は、「0（ゼロ）」を記入し
てください。

- (注) 1 F欄には、C欄とD欄とE欄を比較していずれか少ない方の額を記載すること。
2 G欄にはF欄の額を記載すること。
3 H欄にはG欄の額に補助率を乗じて得た額を記載すること。
4 G欄、H欄に千円未満の端数が生じた場合は切り捨てること。

- 移乗支援、入浴支援、その他（交付要領4（1）イで示す機器）の場合…1,250,000円/1台
●上記ロボット以外の場合…375,000円/1台
●「導入支援と一体的に行う業務改善支援事業」の場合…600,000円/1事業所